

由比地区活性化計画 改善計画書

平成 25 年 9 月 27 日作成

都道府県名	計画主体名	地区名	計画期間	実施期間
静岡県	静岡市	由比地区	平成 22～24 年度	平成 22～23 年度
事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体	
農林漁業体験施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験講習室 121.66 m² ・ 体験実習施設 119.14 m² 		由比港漁業協同組合	

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率 (%) B / A	備考
交流人口の増加 (由比地区)	115%増	12%増	10.4%	(H22～24)/(H19～21)

2 目標が達成できなかった要因

<p>【事務的要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 23 年度については、当該施設の完成が年度末となった。 <p>【社会的・経済的要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 23 年 3 月発生 of 東日本大震災の影響により、海の近くで行う当事業に対する津波などへの恐れから、体験施設利用希望者が大幅に減少したため。
--

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度	平成 29 年度
事業の推進体制	計画を実施するため由比港漁業協同組合と併せて静岡市に於いても計画を推進していく。
具体的取組方策	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの受入団体である神奈川県横浜市及び東京都八王子市の学校に加え、県内・市内の中山間地の学校などに売り込み『由比でしか体験できないこと』をアピールしながら受入団体の開拓を図る。 ・ 学校ばかりでなく、平成 24 年度より始めた市内人気料理教室の当施設利用、地元観光会社との協力で行う漁見学ツアー客や海外企業の慰安旅行でのツアープランでの取り込み等を強化していく。 ・ 体験者や利用者アンケート等を行い、当施設に対するニーズを分析して、サービスの向上を図る。 ・ 沿岸域にある当施設の安全面を強調する PR に加え、市としても安心・安全に利用できる方策を考え、実施していく。

4 改善計画に対する第三者の意見

(コメント)

対象地区を身近な県内、市内に着目したことは、評価ができる。漁港体験などは近くにいても体験する機会が少なく、教育委員会などを通じた広報宣伝活動が有効だと考える。一般向けの商品プログラムを開発することは、マーケット拡大に有効であり、ツアー団体の取り込みに効果的である。

【しずおか体験教育旅行事務局長（東海大学社会教育センター部長） 宮城島 史人】

改善計画添付資料

【計画目標と実績】

交流人口数	H16～21	H22	H23	H24	H22～24 計
計 画		3,439	4,000	5,000	12,439
実 績	7,956	2,598	2,368	1,526	6,492
達成率		75.6%	59.2%	30.5%	52.2%

【事業実績と今後の目標】

	受入団体数及び交流人口数						
	H23 実績	H24 実績	H25 見込	H26 計画	H27 計画	H28 計画	H29 計画
横浜市	15	9	6	8	12	13	14
人数	1,521	1,067	574	800	1,200	1,300	1,400
八王子市	12	5	6	7	10	11	12
人数	847	358	455	700	1,000	1,100	1,200
静岡県	—	0	0	3	5	7	8
人数	—	0	0	300	500	700	800
料理教室	—	2	24	24	26	28	30
人数	—	40	480	720	780	840	900
その他	—	2	2	10	12	14	15
人数	—	61	80	400	600	700	750
計 (人)	2,368	1,526	1,589	2,920	4,080	4,640	5,050
H25～29 5ヶ年合計 (人)							18,279